

# 石川県長期構想

〈概要版〉



《発行者》

石川県

〒920-8580

石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL076-225-1111(代)

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/>



石川県

# 策定にあたって

## 策定の趣旨

平成19年3月に改定した石川県新長期構想(改定)に基づき、県民の40年来の悲願であった北陸新幹線については、平成27年3月14日に金沢開業を迎えるとともに、敦賀延伸についても着工に至り、道路・港湾・空港といった陸・海・空の交流基盤の整備や利活用に加え、本県の伝統文化の象徴ともいえる金沢城公園の復元整備や県庁跡地の整備、経済・雇用対策、防災・減災対策の強化、医療・福祉の充実、里山里海の利用保全など、基本目標である「個性、交流、安心のふるさとづくり」の具現化に向けた取組みを着実に進めてきました。

平成27年度末に石川県新長期構想(改定)の目標年次を迎える中で、「地球時代」「成熟時代」「地方創造時代」といった時代認識を、引き続き大事にしながら、基本目標や目指すべき将来像については、長期的な視野に立ち、県政の継続性・一貫性を重要視しつつ、本県を取り巻く環境の変化を踏まえた新たな長期構想を策定します。

## 基本姿勢

北陸新幹線敦賀開業や2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催といった新たな対応が必要となる情勢変化を迎える一方で、基本的な課題には継続的な対応が求められ、人口減少など深刻な課題もいよいよ顕在化してきています。

また、社会資本の更新投資・維持管理費や社会保障費の増大等により、今後、厳しくなることが想定される財政事情の下で、引き続き、県民の負託に応えていく必要があります。

これらの状況を勘案し、施策の重点化に十分に意を用いつつ、諸課題を踏まえた今後10年間の明確なビジョンを描き、これを実現するための施策を着実に展開していきます。

## 計画期間

平成28年度(2016年度)を初年度とし、平成37年度(2025年度)を目標年次とする10年間の計画とします。

## CONTENTS

策定にあたって	1	長期構想の実現に向けて	11
基本目標と目指すべき将来像	3	施策の達成目標(抜粋)	12
将来像 Ⅰ 魅力を磨き人・ものを惹きつける「いしかわ」	5	地域別の施策の方向性	13
将来像 Ⅱ 成長を実感でき働く人が輝く「いしかわ」	7		
将来像 Ⅲ 安全・安心とやすらぎを感じる「いしかわ」	9		



# 基本目標と目指すべき将来像

## 時代認識

## 基本目標

## 目指すべき将来像

## 重点戦略

最新の時代の動きや変化を把握し、長期構想に的確に反映しました。

### 地球規模の動き 地球時代

- ① 地球環境問題の深刻化、顕在化
- ② 社会・経済活動のボーダレス化、国際化の進展
- ③ 広域的な交通ネットワークの整備・活用
- ④ 情報通信技術の急速な進化

### 日本全体の社会の変化 成熟時代

- ① 人口減少を克服し、東京一極集中から脱却する社会構造の構築
- ② 多様な価値観を持つ個人が共存・参画する社会の到来
- ③ 大規模災害やインフラ老朽化の対応

### 地方を取り巻く環境の変化 地方創生時代

- ① 地方創生の幕開け
- ② 文化の継承・発展
- ③ 多様な主体による連携と協働
- ④ 持続可能な財政基盤の確立

県外・国外を視野に入れたさらなる発信・展開

人口減少対策の重要性

安全・安心のさらなる希求

個性、交流、安心のふるさとづくり

将来像Ⅰ  
魅力を磨き  
人・ものを惹きつける  
「いしかわ」

将来像Ⅱ  
成長を実感でき  
働く人が輝く  
「いしかわ」

将来像Ⅲ  
安全・安心と  
やすらぎを感じる  
「いしかわ」

① 魅力が輝き交流が盛んな地域づくり

② 個性と魅力にあふれる文化と学術の地域づくり

③ 人を惹きつける生涯居住の地域づくり

④ 地域の強みを活かし成長する産業づくり

⑤ 成長する農林水産業と農山漁村づくり

⑥ 安全・安心と豊かな里山里海に包まれる環境づくり

⑦ 少子高齢化を見据えた希望と安心の社会づくり

⑧ みんなで支えるやすらぎと絆の社会づくり

⑨ 未来を拓く心豊かな人づくり



# 魅力を磨き人・ものを惹きつける「いしかわ」

## 重点戦略 [1]

### 魅力が輝き交流が盛んな地域づくり

北陸新幹線金沢開業をはじめとした陸・海・空の交流基盤の整備により、本県の観光客は大幅に増加し、金沢港のコンテナ取扱量が年々増加するなど、人やものの交流は大きく拡大しました。

今後も、東京オリンピック・パラリンピックを契機とする訪日観光客の増加が見込まれる中、北陸新幹線敦賀開業も見据え、開業効果を県内各地へ波及させ、持続・発展させる取組みがますます重要となってきます。

こうした情勢を踏まえ、人を惹きつける本県の魅力を一層磨き、その輝きを発信するとともに、さらなる交流基盤の整備・活用により、人やものの交流が盛んな地域を目指します。

## 施策 3

東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた海外誘客の促進を図ります。



ミラノ国際博覧会での石川のPR

## 施策 4

人・ものの広域な交流のための基盤整備と活用を推進します。



小松空港



のと里山空港

## 施策 1

北陸新幹線の早期全線整備と開業効果を持続・発展させる取組みを推進します。



## 施策 2

さらなる誘客促進と石川ファンの拡大を図ります。



ライトアップされた玉泉院丸庭園



石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」

## 重点戦略 [3]

### 人を惹きつける生涯居住の地域づくり

人口減少対策として、就職等に伴う人口の転出超過に歯止めをかけ、石川への人の流れを創り出す必要があります。

このため、魅力ある雇用の場を創出する(重点戦略4及び5)とともに、学生のUターン・県内就職の促進及び県外からの移住・定住を促進します。

また、本県の強みである充実した交流基盤や、良好な生活基盤にさらに磨きをかけることで、一生暮らす移住・定住先として選ばれる地域づくりを推進します。

## 重点戦略 [2]

### 個性と魅力にあふれる文化と学術の地域づくり

伝統と創造に立脚した豊かで質の高い本物の文化をはじめ、高等教育機関の高い集積、活発に展開されている国際交流などは、比肩するものがない、まさに本県の個性であり、魅力であり、大きな力です。

地方創生時代を迎え、地域の個性ある発展がこれまで以上に求められる中、こうした人を惹きつける本県独自の個性と魅力をさらに磨き上げ、その価値を一層高め、そしてこれらを県民が再認識するとともに、広く内外に発信していくことが、石川の活力の向上につながります。

こうした認識のもと、様々な関係機関等とも連携・協力し、文化の薫り高い石川の実現を目指し、さらなる文化の創造と発展、学都石川の魅力の向上、国際交流の推進を図り、国際的にも評価される「個性と魅力にあふれる文化と学術の地域づくり」を進めます。

## 施策 3

国際交流の拡大とグローバル化に対応した多文化共生を促進します。



日本語・日本文化研修生の文化体験



いしかわシティカレッジ

## 施策 1

学生のUターンや県内就職を促進します。



ふるさと就職セミナー

## 施策 2

県外からの移住・定住を促進します。



首都圏での移住促進イベント

## 施策 3

にぎわいのあるまちづくりを進めます。



地域づくり塾

## 施策 1

個性と魅力にあふれる文化の創造と発展に取り組めます。



鼠多門・鼠多門橋整備イメージ図

## 施策 2

高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力向上を図ります。



# 成長を実感でき働く人が輝く「いしかわ」



## 重点戦略 [4]

### 地域の強みを活かし 成長する産業づくり

この10年、ニッチトップ企業の増加、企業誘致や炭素繊維複合材料の研究開発の進展、コンテナ取扱量の増加など、本県産業の競争力強化に向けた取り組みは一定の成果をあげてきました。

一方で、この間、人口減少による国内市場の縮小や東南アジアをはじめとした海外市場の拡大が進み、経済のボーダレス化により海外経済が本県経済へ及ぼす影響力が増していることが先のリーマンショックで顕在化したほか、炭素繊維複合材料等の革新的な新素材分野やライフサイエンス分野などの成長市場が拡大するなど、本県経済を取り巻く経済環境は大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、層の厚いものづくり基盤や高等教育機関の集積、豊富な地域資源、有利な立地環境等の本県の強みを活かし、景気の動向など国内外の環境変化に左右されない骨太な産業構造の構築を図り、本県産業の持続的な成長・発展を推進します。

## 1

新製品開発・  
販路開拓による  
新規需要の創出に  
取り組みます。



大手メーカーとの技術提案型展示商談会

## 2

国際展開の拡大、  
重要港湾の利活用促進に  
取り組みます。



金沢港

七尾港

## 重点戦略 [5]

### 成長する農林水産業と農山漁村づくり

今後、一次産業の担い手不足や高齢化に加え、人口減少に伴う国内市場の縮小が見込まれることなどから、農林水産業への影響はもとより、農山漁村の機能そのものが失われることが懸念されています。このため、多様な担い手の確保や経営基盤の強化に向けた施策を推進するとともに、里山里海での生業づくりを進め、農山漁村の活性化を図っていきます。

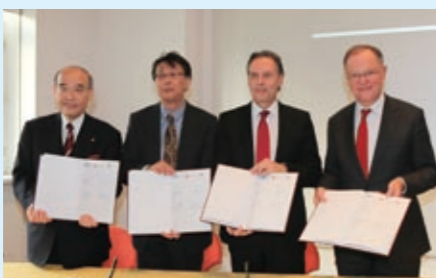
農業においては、収益性向上による所得の最大化のため、コスト削減や高付加価値化、販路の拡大や海外展開も視野に入れつつ、成長産業化を進めます。

また、林業においては、人工林が資源として成熟し利用可能となる段階を迎えることから、森林資源の健全な育成のための利活用と林業の活性化を図り、水産業においては、漁獲量が不安定な中、本県水産物に対する需要の高まりに対応するため、漁業の振興と中長期的な安定供給を図っていきます。

なお、環太平洋パートナーシップ(TPP)協定については、農林水産業に与える影響が最小限となるよう必要な対策を講じることを国に働きかけていきます。

## 3

次世代産業の  
創造に  
取り組みます。



ドイツCFKバレーとの連携協定締結

## 4

地域の強みを  
活用します。



食文化の総合力発信(食文化提案会) 首都圏アンテナショップ

## 1

次世代に向けた  
他産業との連携による  
農林水産業の収益性の  
向上を進めます。



ICTブルドーザの活用

## 2

ニーズの変化に  
対応した生産・  
販路の拡大と  
海外展開を図ります。



エアリーフローラ

ルビーロマン

## 5

戦略的な  
企業誘致を  
推進します。



研究開発部門等の本社機能の誘致

## 6

地場産業の  
経営安定化、  
基盤強化を  
推進します。



いしかわ伝統工芸フェア

## 3

地域の農業を担う  
多様な担い手の  
活躍を支援します。



いしかわ耕稼塾

## 4

森林資源の利活用と  
林業の活性化を  
図ります。



高性能林業機械

## 7

産業人材の  
総合的育成・確保を  
進めます。



インターンシップマッチング交流会

## 8

地域に貢献する  
産業活動を  
促進します。



エコ・リサイクル認定製品

## 5

漁業の振興と  
水産物の安定供給を  
図ります。



トリガイの養殖

## 6

地域の強みを活かした  
里山里海の振興を  
図ります。



白米千枚田





# 安全・安心とやすらぎを感じる「いしかわ」



重点戦略 [6]

## 安全・安心と豊かな里山里海に包まれる環境づくり

近年、地球温暖化の進行による異常気象や、東日本大震災など大規模な自然災害が日本各地で多発しているほか、高度経済成長期に整備されたインフラの老朽化が進行しており、安全・安心の確保はますます重要な課題となっています。

そのため、官民一体となりハード・ソフトの両面から防災対策の充実強化に取り組むほか、交通安全や防犯、消費生活、食、医療といった、暮らしに身近な安全・安心についても、引き続き各種取り組みを行います。

また、里山里海に象徴される本県の豊かな環境についても全県民の財産として引き続き保全していきます。

- 施策 4 循環を基調とした持続可能な社会をつくります。
- 施策 5 自然と人との共生できる社会をつくります。  
いしかわ動物園のトキ

- 施策 1 官民一体となって災害に強い県土をつくります。  
県民一斉防災訓練 (シェイクアウトいしかわ)
- 施策 2 身近な安全・安心が確保された社会をつくります。  
通学路の点検

- 施策 3 必要な医療がしっかりと提供される地域社会をつくります。  
新県立中央病院完成予想図

重点戦略 [7]

## 少子高齢化を見据えた希望と安心の社会づくり

人口減少、特に少子化に歯止めをかけるには、合計特殊出生率の向上が不可欠であり、これまで子育て支援先進県として取り組んできた様々な施策をさらに拡充・深化させる必要があります。

そこで、若者の結婚や出産の希望がかない、安心して子どもを生み育てていくことができるよう、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行います。

また、単に長寿というだけでなく元気で自立して暮らせる期間である健康寿命のさらなる延伸を図るほか、増加が予想される様々な介護ニーズに的確に対応できる体制の整備に向けた取り組みも進めます。

- 施策 1 ライフステージに応じたきめ細かな少子化対策の充実を図ります。  
在宅育児家庭の通園保育
- 施策 2 団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けた高齢者対策の強化に取り組めます。
- 施策 3 元気で自立して暮らすための健康づくりを支援します。

重点戦略 [8]

## みんなで支えるやすらぎと絆の社会づくり

東日本大震災(H23)を契機に、地域での付き合いや人と人との絆が地域社会の安全・安心に果たす役割が再認識されるようになりました。

地域活動の担い手となる世代も今後減っていくと見込まれる中で、地域の暮らしを支える相互理解や助け合いを充実する取組を推進します。

また、互いを尊重し合い、誰もが安心して暮らせる地域や社会をつくるため、様々な取組を推進します。

- 施策 1 ふるさとを支える絆の地域づくりを進めます。  
道路美化活動
- 施策 2 安心して暮らせる福祉社会づくりを進めます。  
リハビリテーションセンター
- 施策 3 障害者と共生する社会の構築に向け取り組みます。
- 施策 4 お互いの人権の尊重と男女共同参画社会形成を推進します。

重点戦略 [9]

## 未来を拓く心豊かな人づくり

少子高齢化及び人口減少の進行とともに、グローバル化や科学技術の進展など、社会全体が急速に変化しています。

このような中において、本県の将来を支える子どもたち一人ひとりが、それぞれの能力や個性を活かして豊かな生活を実現すると同時に、自立した人間として社会の中で役割を果たすために、求められる資質・能力も変化しています。

このため、確かな学力はもとより、社会の変化に対応できる資質・能力を育成するとともに、ふるさとに対する誇りと愛着を礎に、地域の活性化に貢献できる人材を育成します。

また、教員の大量退職・大量採用に伴う急激な世代交代が続く中、優秀な教員を確保するとともに、教員の資質・能力の向上を図ります。

そのほか、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機とした取組を充実し、スポーツ活動を振興します。

- 施策 1 これからの社会を生き抜く心身ともにタフな人づくりを進めます。  
地元企業での実習風景
- 施策 2 建学の精神を尊重した私学の振興に取り組めます。
- 施策 3 家庭や地域の教育力の向上と青少年の健全育成に取り組めます。  
親学び講座
- 施策 4 生涯にわたり学び続ける環境づくりを進めます。  
石川県民大学校講座風景
- 施策 5 ライフステージに応じたスポーツ活動の充実を図ります。  
いしかわ総合スポーツセンター



# 長期構想の実現に向けて

施策の成果について、県民の視点に立って目標を設定し、その進行管理を行います。

## 進行管理

施策・事務事業を適切に執行するため、Plan(目標設定) - Do(実行) - Check(評価) - Action(改善)の一連のサイクルによる業務執行を行います。

こうした取り組みとあわせ、県の持つ行政情報の積極的な公開に努めることにより、県民の理解と信頼を深め、「県民参加による公正で開かれた県政」の推進に努めます。

今後、人口減少が顕在化し、また、社会資本の更新投資・維持管理費や社会保障費の増大等が想定される中で、本構想の実現に向けて、平成27年3月に策定した行政経営プログラムを着実に実施することはもとより、時代の変化に対応した不断の行財政改革に取り組んでいきます。

## 限られた資源を最大限活用した、効率的・効果的な行政経営の推進

～コストを縮減しつつ、「質」に力点を置いた諸改革の推進によるより質の高い県民本位の行政サービスの提供～

### 1 柔軟かつ機動的な組織づくりと人材の育成・確保

長期構想の着実な実現に向け、効率的・効果的な施策展開を図るための組織体制を構築します。また、質の高い行政サービスを提供するため、県民から信頼されるプロフェッショナルな職員づくりを推進します。

### 2 県民の視点に立った行政サービスの提供

多様化する県民ニーズに対応するため、県民との対話や県政への県民参加の促進を図りつつ、民間をはじめとする多様な主体との連携・協働を推進し、従来にも増して質の高い行政サービスの提供に努めます。

### 3 財政健全性の維持・向上

収支均衡にとどまることなく、引き続き歳入の確保やさらなる行政コストの縮減に努め、将来の備えとして、必要な資金を基金に積み立てるなど、財政健全性の一層の向上を推進します。

県有施設の老朽化が進行する中、長寿命化対策や廃止・集約などによる適正な管理を推進します。

## 施策の達成目標〈抜粋〉

重要戦略	指標	現状	目標
重点戦略[1] 魅力が輝き交流が盛んな地域づくり	北陸新幹線の金沢・敦賀間開業年度	東京・金沢間 (H27長野・金沢間開業)	H34年度末までの出来るだけ早い時期
	県内観光年間入り込み客数	2,161万人	3,000万人
	外国人年間宿泊者数	29万人	100万人
	クルーズ船の寄港本数	16本	40本定着
重点戦略[2] 個性と魅力にあふれる文化と学術の地域づくり	兼六園・金沢城公園の年間入園者数	340万人	640万人
	兼六園周辺文化施設の年間入館者数	75万人	105万人
重点戦略[3] 人を惹きつける生涯居住の地域づくり	県内出身県外大学生のUターン就職率	約6割	7割以上
	県内出身県内大学生の県内就職率	約7.5割	8.5割以上
	県外出身県内大学生の県内就職率	約1.5割	2.5割以上
	本県への移住者数	347人	650人
重点戦略[4] 地域の強みを活かし成長する産業づくり	製造品出荷額	2兆4243億円 全国比率0.83%(H25)	2兆7000億円 全国比率増加
	金沢港の外貿コンテナ貨物量	60,304TEU	70,000TEU
	誘致企業による新規雇用の創出(累計)	1,855人 (H17～26累計)	2,000人 (H28～37累計)
重点戦略[5] 成長する農林水産業と農山漁村づくり	新規就農者数	115人 (H22～26平均)	120人
	農家民宿の年間利用者数	14,000人	20,000人
重点戦略[6] 安全・安心と豊かな里山里海に包まれる環境づくり	消防団員数	5,302人	増加
	交通事故年間死者数	55人	45人以下
重点戦略[7] 少子高齢化を見据えた希望と安心の社会づくり	合計特殊出生率	1.45	1.73
	健康寿命	健康寿命(H25) 男性:72.02歳 女性:74.66歳 平均寿命(H22) 男性:79.75歳 女性:86.81歳	平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加
	介護職員数	16,000人 (H24)	23,000人
重点戦略[8] みんなで支えるやすらぎと絆の社会づくり	NPO法人数	346法人	450法人
	県審議会等委員への女性登用率	32.8% (H27)	50%
重点戦略[9] 未来を拓く心豊かな人づくり	高校生の就職希望者の内定率	99.8% (全国2位)	全国上位
	高校生の大学又は短大進学率	54.3% (全国15位)	全国上位
	中学生の高等学校進学率	99.2% (全国5位)	全国上位



# 地域別の施策の方向性

## 能登中部地域

### 将来像 Ⅰ

- 世界農業遺産「能登の里山里海」や和倉温泉、千里浜など地域独自の観光資源の活用や新たな観光魅力の発掘・磨き上げ
- のと里山空港や七尾港、のと里山海道等の地域の交流基盤の充実・活用による観光振興
- ジョブカフェ石川能登サテライトにおける就職支援や農業を含むインターンシップの充実、ふるさと教育の充実
- のと鉄道やJR七尾線の利用促進や生活路線バスへの支援など
- いしかわ歴史遺産「七尾城が語る『能登の戦国都市物語』、『漂着神』の聖地～日本海交流が伝える祈りと祭りの文化財めぐり～」や日本遺産「灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」など地域固有の文化財の発掘・保存・活用

### 将来像 Ⅲ

- 救支援物資受入れのための七尾港の整備、熊木川など河川改修の推進、千里浜海岸の保全対策の推進、原子力防災対策の強化
- 世界農業遺産「能登の里山里海」に象徴される豊かな自然環境の保全
- 医師・看護職員の確保、他地域も含めた医療機関相互の連携強化
- 出会いの機会を増やす取組みなど結婚支援の充実、子育て支援の充実

## 加賀南部地域

### 将来像 Ⅰ

- 白山眺望や加賀温泉郷等の観光資源の活用や新たな観光魅力の発掘・磨き上げ
- 北陸新幹線や小松空港、加賀海浜産業道路等の地域の交流基盤の充実・活用による観光振興
- 北陸新幹線敦賀延伸の効果を最大限発揮する観光誘客
- ジョブカフェ石川加賀サテライトにおける就職支援や大学コンソーシアムの県外での進学説明会参加への支援
- 生活路線バスへの支援など
- いしかわ歴史遺産「平安の世の歴史物語が息づく歌舞伎のまち・小松」など地域固有の文化財の発掘・保存・活用

### 将来像 Ⅱ

- ものづくり産業の集積やいしかわサイエンスパークなど地域の強みを活かした戦略的な企業誘致
- 山中漆器・九谷焼等の伝統的工芸品産業の活性化
- 「ルビーロマン」や「加能ガニ」など地域の特色ある農林水産物の産地化・ブランド化の促進、ズワイガニ等の天然資源の管理

### 将来像 Ⅱ

- 世界農業遺産「能登の里山里海」やのと里山海道など地域の強みを活かした戦略的な企業誘致
- 繊維産業等の体質強化、伝統的工芸品産業の活性化
- 「能登野菜」や「能登牛」、「能登とり貝」など地域の特色ある農林水産物の産地化・ブランド化の促進、七尾湾におけるトリガイ等の養殖の普及・拡大
- 七尾港の木材物流の総合拠点化

## 能登北部地域

### 将来像 Ⅲ

- 若山川など河川改修の推進、原子力防災対策の強化
- 世界農業遺産「能登の里山里海」に象徴される豊かな自然環境の保全
- 医師・看護職員の確保、他地域も含めた医療機関相互の連携強化
- 出会いの機会を増やす取組みなど結婚支援の充実、子育て支援の充実

## 能登北部地域

### 将来像 Ⅰ

- 世界農業遺産「能登の里山里海」や豊富な食、輪島朝市など地域独自の観光資源の活用や新たな観光魅力の発掘・磨き上げ
- のと里山空港や能越自動車道等の地域の交流基盤の充実・活用による観光振興
- ジョブカフェ石川能登サテライトにおける就職支援や農業を含むインターンシップの充実、ふるさと教育の充実
- のと鉄道の利用促進や生活路線バスへの支援など
- いしかわ歴史遺産「平家の末裔 時国氏の繁栄」や日本遺産「灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」など地域固有の文化財の発掘・保存・活用

### 将来像 Ⅱ

- 世界農業遺産「能登の里山里海」やのと里山海道など地域の強みを活かした戦略的な企業誘致
- 輪島塗等の伝統的工芸品産業の活性化
- 「能登棚田米」や「海女採りアワビ」、「能登ヒバ」など地域の特色ある農林水産物の産地化・ブランド化の促進、アワビ等の種苗放流による水産資源の増殖促進

### 将来像 Ⅱ

- 高等教育機関やものづくり産業の集積など地域の強みを活かした戦略的な企業誘致
- 革新複合材料研究開発センター（ICC）を拠点とした炭素繊維分野等の革新的な研究開発の推進
- 加賀友禅・金箔等の伝統的工芸品産業の活性化
- 国際物流拠点としての金沢港のさらなる発展
- 「ルビーロマン」や「エアリーフローラ」、「加能ガニ」など地域の特色ある農林水産物の産地化・ブランド化の促進、金沢港の冷蔵・冷凍施設の整備などによる高鮮度水産物の供給

### 将来像 Ⅲ

- 救支援物資受入れのための金沢港の整備、犀川など河川改修の推進、白山火山防災計画の推進、原子力防災対策の強化
- 高度周産期医療機関の効率的受入体制の整備
- 学生や若手社会人等を対象とした結婚支援の充実、共働き世帯とともに在宅育児家庭への子育て支援の充実



## 石川中央地域

### 将来像 Ⅰ

- 兼六園や金沢城公園等の歴史・文化資源や、白山の豊かな自然などの観光資源の活用、金沢港におけるクルーズ船の誘致などによる誘客促進
- 北陸新幹線や小松空港、金沢港、金沢外環状道路等の地域の交流基盤の充実・活用による観光振興
- ジョブカフェ石川における就職支援や大学コンソーシアムの県外での進学説明会参加への支援、高等教育機関の集積の活用
- IRいしかわ鉄道の利用促進や生活路線バスへの支援など
- いしかわ歴史遺産「三つの寺院群と茶屋街～歩く・観る・祈る～」など地域固有の文化財の発掘・保存・活用、金沢城の総合研究の実施と国内外への情報発信
- 県立看護大学及び県立大学における人材育成や地域貢献の推進